資料２

令和９年度全国学力・学習状況調査について

１．令和９年度全国学力・学習状況調査の概要

①調査内容

＜本体調査＞（悉皆）

・教科に関する調査（国語、算数・数学）
・質問調査（児童生徒質問調査、学校質問調査）

＜経年変化分析調査＞（抽出）
・教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）

＜保護者に対する調査＞（抽出）
・児童生徒の家庭状況、教育に関する考え方等に関する質問調査

※本体調査、保護者調査は全面オンライン方式で実施。
※経年変化分析調査は、冊子方式又はオンライン方式により実施

②調査対象

国・公・私立学校の小学校６年生・中学校３年生及びその保護者

③実施予定日

調査項目	日程	
	通常実施	後日実施
教科調査	小学校　：４/20（火）～４/23（金） （予備日：４/26（月）～４/28（水）） 中学校　：４/13（火）～４/16（金） （予備日：４/19（月）～４/21（水））	小学校:４/30(金)～5/10(月) 中学校 :4/22(木)～5/10(月) （学校外でオンライン実施可）
児童生徒質問調査	児童質問調査：４/20(火)～５/10(月) 生徒質問調査：４/13(火)～４/30(金) （実施日以降は学校外でオンライン実施可）	5/10（月）まで （学校外でオンライン実施可）
経年変化分析調査	5/11（火）～5/28（金）を原則として実施 （抽出校の都合に応じ6/4(金)まで実施可）	
保護者に対する調査	5/11（火）～6/4（金）	
学校質問調査	４/１（木）～４/23（金）	

① 教科調査、児童生徒質問調査及び経年変化分析調査の調査実施日は、実施期間から各学校の希望を踏まえて事前に指定する日とする。
②調査の実施日に、調査を実施できないやむを得ない事情等がある学校や、実施時のトラブルや欠席等により調査を実施できなかった生徒については、教育委員会や学校等の判断により、予備日や後日実施期間に調査を実施することができる。
③後日実施の期間は、登校困難、欠席、技術的トラブル等の事情に応じ、**学校外（自宅、病院、教育支援センター等）**でオンライン実施可。

２．令和９年度調査の実施方式

	実施方式	（オンライン方式の場合） 用いるシステム
教科に関する調査	オンライン方式 ※1	MEXCBT
児童生徒質問調査	オンライン方式 ※1	MEXCBT
学校質問調査	オンライン方式	受託事業者の Web システム
経年変化分析調査	冊子方式又は オンライン方式	MEXCBT
保護者に対する調査	オンライン方式	受託事業者の Web システム

※1 点字は、冊子方式とする。

令和９年度全国学力・学習状況調査の時間割のモデル

以下は、円滑かつ確実な調査実施のため、各教科調査の直前に操作練習（5 分程度）を組み込み、各学校の実情に応じて**特別日課等を編成する場合の一例**である。

(1)質問調査と教科調査を同一日に実施する場合

◆ 小学校

調査実施日（４月 20 日～４月 23 日のうち１日）

ログイン時間 （15 分）	第１調査枠（50 分程度） 操作練習（5 分程度） 国語（45 分）	休憩 （5 分）	第２調査枠（50 分程度） 操作練習（5 分程度） 算数（45 分）	休憩 （5 分）	第３調査枠（20 分程度） 児童質問調査（20 分程度）

◆ 中学校

調査実施日（４月 13 日～４月 16 日のうち１日）

ログイン時間 （15 分）	第１調査枠（55 分程度） 操作練習（5 分程度） 国語（50 分）	休憩 （5 分）	第２調査枠（55 分程度） 操作練習（5 分程度） 数学（50 分）	休憩 （5 分）	第３調査枠（20 分程度） 生徒質問調査（20 分程度）

（注）

1. 休憩時間も含めて時間は一例であり、各学校の実態に応じて適切に設定すること。
2. 各教科調査は、操作練習（5 分程度）と合わせて実施すること。

（２）質問調査を別日程で実施する場合

◆ 小学校

教科調査の実施日

（４月 20 日～４月 23 日のうち１日）

ログイン時間（15 分）	第１調査枠（50 分程度）	休憩（5 分）	第２調査枠（50 分程度）
	操作練習（5 分程度） 国語（45 分）		操作練習（5 分程度） 算数（45 分）

児童質問調査の実施日

（４月 20 日～５月 10 日のうち１日）

ログイン時間（15 分）	第３調査枠（20 分程度）
	児童質問調査（20 分程度）

◆ 中学校

教科調査の実施日

（４月 13 日～４月 16 日のうち１日）

ログイン時間（15 分）	第１調査枠（55 分程度）	休憩（5 分）	第２調査枠（55 分程度）
	操作練習（5 分程度） 国語（50 分）		操作練習（5 分程度） 数学（50 分）

生徒質問調査の実施日

（４月 13 日～５月 10 日のうち１日）

ログイン時間（15 分）	第３調査枠（20 分程度）
	生徒質問調査（20 分程度）

（注）

1. 休憩時間も含めて時間は一例であり、各学校の実態に応じて適切に設定すること。
2. 各教科調査は、操作練習（5 分程度）と合わせて実施すること。

令和９年度 経年変化分析調査・保護者に対する調査の概要　（参考資料）

調 査 概 要

	経年変化分析調査	保護者に対する調査
調査目的	全国的な学力の状況について、経年の変化を把握・分析し、今後の教育施策の検証・改善に役立てる（平成25、28年、令和３、６年度に続き、５回目）	家庭状況と学力等の関係について、経年の変化を把握・分析し、今後の教育施策の検証・改善に役立てる（平成25、29年、令和３、６年度に続き、５回目）
調査実施日	令和９年５月11日(火)～５月28日(金)の期間中、対象学校が実施可能な日時 ※抽出校の都合に応じて、６月４日（金）まで実施可	令和９年５月11日(火)～６月４日(金)
調査対象	統計的な手法に基づき厳格な抽出を行った結果選ばれた国・公・私立の小学校第６学年、中学校第３学年の児童生徒	本体調査及び経年変化分析調査を実施した児童生徒の保護者
調査内容	国語、算数・数学、英語（中学校のみ） （調査時間：小学校40分、中学校45分(※)） ・問題冊子は、国語、算数・数学は13分冊、英語は２分冊で実施。 ・出題範囲は、原則、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項。 ・出題内容は、我が国の国語、算数・数学、英語の能力を中長期的に測定していくことができる内容としている。 ・各学校では、いずれか１教科を実施。 ・CBT・PBTを併用して実施 (※)　英語は「聞くこと」「読むこと」「書くこと」を45分で実施し、別途「話すこと」を５～10分程度で調査	保護者を対象に、児童生徒の家庭における状況、保護者の教育に関する考え方等について質問調査を実施 ・全面CBTで実施

◆ **標本学校数**

	PBT実施校(※1)	CBT実施校(※2)	合計
小学校	国語・算数　各300校 （約３万人）	国語・算数　各300校 （約３万人）	1,200校 （約６万人）
中学校	国語・数学・英語　各250校 （約７万人）	国語・数学・英語　各250校 （約７万人）	1,500校 （約１４万人）

（※１）PBT実施校：経年変化分析調査において、冊子を用いた筆記形式で調査を実施する学校
（※２）CBT実施校：経年変化分析調査において、児童生徒が活用するICT端末を用いた、文部科学省CBTシステムによるオンライン方式で調査を実施する学校

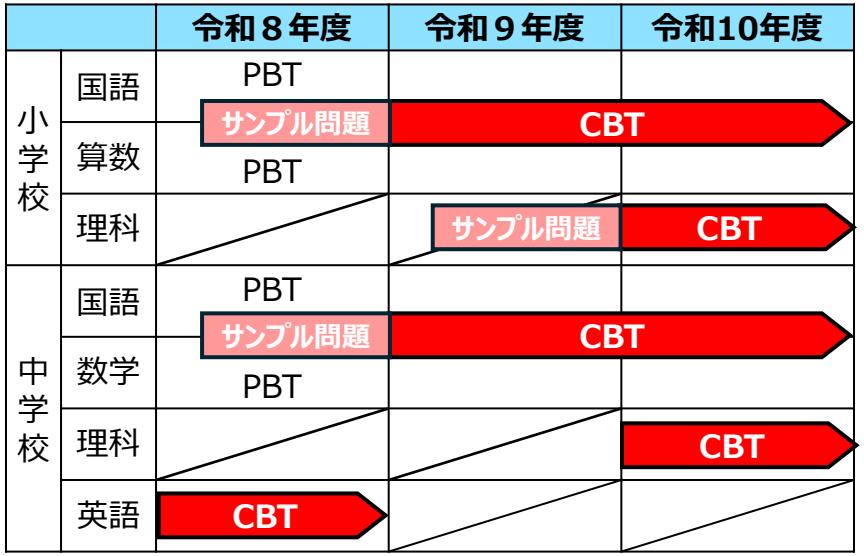
（参考資料）

全国学力・学習状況調査のCBT化により、学校外からも参加できます

この資料は、全国学力・学習状況調査へのCBT方式の導入によって拡大する、学校外での調査実施に関するものです。
本資料の内容を、教育支援センター等の関係者に共有いただけると幸いです。

- 全国学力・学習状況調査では、端末・ネットワークを用いるCBT（Computer-based Testing）方式を順次導入しています。
- 令和８年度調査では、中学校英語、小・中学校児童生徒質問調査を、CBTで実施しました。
- **令和９年度調査からは、小学校・中学校の全教科をCBTで実施**します。
- 一人一台端末の活用により、電子データにより問題・解答を配信・回収することが可能となるため、CBTで実施する調査は、学校での実施が困難な児童生徒に対して、**自宅、病院、教育支援センター等、学校外において後日実施することも可能**です。

CBT化の工程表



児童生徒がそれぞれの状況に応じて柔軟に調査に参加することができるよう、
教育委員会・学校と保護者・病院・教育支援センター等で連携いただけますよう、お願いします。

令和９年度調査や全国学力・学習状況調査のCBT化の詳細については、下記サイトから御確認いただけます。

- 令和９年度の調査実施について（主な通知・事務連絡を随時掲載）
  https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/zenkoku/1417152_00017.htm
- 今後の全国学力・学習状況調査(悉皆調査)のCBTでの実施について
  https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/1421443_00005.htm